

バッハ・二声インベンションの 演奏速度について

片山 昭 守屋富美子

1. はじめに

ヨハン・セバスティアン・バッハ Johann Sebastian Bach (1685—1750) のクラヴィア曲集「インベンション二声・三声」は、ピアノ学習者にもよく知られ、しばしば教育用作品として練習される曲集である。この作品は、学習者にとって練習教材としてだけでなく、バッハの作品の中に一貫して流れる芸術性の高さを知るうえに、また音楽の構成を知的に理解するのに役立つと考えられている。このことについて、バッハはこの曲集の巻頭序言の終りの部分で、「演奏における歌唱的スタイルに習熟し、同時に作曲の確たる意図を知ること。」と、述べているように、この曲集のもつ意味は、学習者にとってピアノ演奏技術の修得という目的と、音楽的内容の把握という二つの教育上の目的があると考えべきである。ところが、この曲集は、実際指導に当たっているいろいろな問題が提起される。すなわち、バッハの自筆譜によれば、この曲集の中では如何なるダイナミクス、Dynamics アーティキュレーション、Articulation テンポ、Tempo に関する指示もないことに起因している。その結果、いろいろな種類の出版譜を生み、また、さまざまな演奏解釈や演奏スタイルが生み出されてきた。

このことは、指導する者にとって、また、学習する者にとって「如何に教えるべきか。」「如何に学ぶべきか。」を決めにくくしており、バッハ・インベンションを学習するときの問題点になっている。われわれはこの点に着目し、すでに紀要第18号において守屋が出版譜について言及した。今回は、自筆譜の中で作曲者自身が、何の指示も与えていない「演奏速度」をとりあげ、出版譜にはどう扱われているか、またレコード演奏ではどの程度の範囲で、テンポが決められ演奏されているかを調べてみた。

2. 調査目的

テンポ Tempo は、音楽の全般的性格を特徴づける重要な要素である。一般的には演奏速度の設定は、作曲家が曲を作るとき速度標語で表示するか、メトロノーム速度記号で表示する。そして、演奏者は作曲家の速度指示に従ってその指示を厳守するか、だいたいの速度の目安として、受けとめるかのどちらかである。バッハ・インベンションはすでに述べたように、自筆譜にはまったく演奏速度に関する指示がない。そこで、この曲集の出版譜における校訂者の速度指示はどうなっているか。また、レコード演奏における演奏者の速度設定は、どのようになっているかを調査することとした。

これらの調査によって、人はどのように曲に内在する音楽の諸要素を受けとめ、どのように反応を起こすかを、演奏速度の面から検討してみたいと思う。

3. 調査対象および方法

(1) 出版譜に関する調査

バッハ・二声インベンションの演奏速度を調査するため、まず、出版譜に書きあらわされている速度標語や速度記号について調査した。調査対象は、1723年のバッハの自筆譜の複製版をはじめ、原典版、実用版などつぎの①～⑩までの出版譜である。

- ① 自筆譜のファクシミリ版
- ② R. ステグリッヒ校訂のヘンレ版
- ③ E. ラッツ・K. H. フェッセル校訂のウィーン原典版

- ④ F. ブゾーニ校訂のブライトコフ版 ⑧ H. ビンヨフ校訂のシュタイングレーパー版
 ⑤ F. ブゾーニ校訂のシャーマー版 ⑨ E. フィッシャー校訂のハンセン版
 ⑥ C. チェルニー校訂のピーター版 ⑩ B. ムジェリーニ校訂のリコルディ版
 ⑦ WM. メーソン校訂のシャーマー版 ⑪ 井口基成校訂の春秋社版

(2) レコードによる調査

レコードによる演奏速度の調査は、出版譜による速度標語の調査方法よりも具体的で、しかも、正確な演奏時間として把握でき、メトロノーム速度に換算できるという利点がある。この利点を生かしてつぎの①から⑨までの演奏家によるレコードを調査対象に、演奏時間を計測した。

- ① ヘルムート・ヴァルハ ⑥ エルノ・パロウ
 ② ズザナ・ルージチコーバ ⑦ 園田高弘
 ③ ラルフ・カークパトリック ⑧ アルド・チッコリーニ
 ④ ジョージ・マルコム ⑨ グレン・グールド
 ⑤ マーチン・ゲーリング

注. 演奏時間の計測にあたり、曲全体の正確な平均速度を把握するため、テンポの流動の大きい、また、演奏家によって延長記号の処理がまちまちである最終小節は計測の対象から除くこととし、最終小節の一つ前の小節までを計測した。

4. 調査結果および考察

(1) 出版譜における速度指示法

出版譜に表示されている速度標語、発想標語、メトロノーム速度記号は、つぎの表 I のようにまとめられる。

表 I 「ハッハ、二声インベンション」における各版の速度指示法

EDITION	FACSIMILE	HENLE	WIENER IRTEXT	BUSONI	CZERNY	MASON	BISCHOFF	FISCHER	MUGELLINI	#	口
1	NONE	NONE	NONE	Allegro With animation and decision	Allegro ♩ = 120	Allegro	Allegro ♩ = 96	Allegro Fresh	Allegro moderato ♩ = 92	Allegro	
2	"	"	"	Moderato Espressivo, but not dragging	Allegro moderato ♩ = 108	Allegro moderato	Moderato ♩ = 69	Moderato with expression	Allegro moderato ed espressivo ♩ = 69	Moderato	
3	"	"	"	Vivace, quasi allegro Viraciously and forcefully	Vivace ♩ = 80	Allegro	Allegretto ♩ = 60	Allegretto cheerful	Allegretto con brio ♩ = 60	Allegretto	
4	"	"	"	Allegro deciso Quickly and forcefully	Allegro ♩ = 72	Allegro vivace	Allegro ♩ = 76	Allegro with ardour	Allegro ♩ = 76	Allegro	
5	"	"	"	Allegro risoluto Rapidly, forcefully and passionately	Allegro moderato ♩ = 108	Allegro moderato	Allegretto espressivo ♩ = 72	Moderato splendid	Allegro risoluto ♩ = 84	Allegro risoluto	
6	"	"	"	Allegretto piacevole, quasi Andantino With forceful movement, not rapidly	Allegretto ♩ = 144	Allegretto	Allegretto ♩ = 138	Andantino Delicate and graceful	Allegretto espressivo ♩ = 104	Allegretto	
7	"	"	"	Allegro moderato ma deciso Quite lively and with decision	Allegro ♩ = 112	Andante con moto	Andante con moto ♩ = 69	Allegro moderato Expressive but virile	Allegro deciso ♩ = 84	Allegro deciso	
8	"	"	"	Presto e leggero possible As rapidly and lightly as possible	Vivace ♩ = 144	Vivace Con Allegrezza	Vivace ♩ = 126	Vivace Brisk and sharp	Vivace, brillante ♩ = 120	Vivace	
9	"	"	"	Allegro non troppo, ma con spirito Not too lively, yet with a swing	Con spirito ♩ = 116	Commodo	Andantino con espressione ♩ = 60	Allegro moderato Sonnus	Allegro moderato ed espressivo ♩ = 72	Allegro moderato	
10	"	"	"	Tempo di Giga, Vivacissimo e leggero With great animation and a skippish touch	Presto ♩ = 152	Vivace	Allegro piacevole ♩ = 100	Vivace cheerful	Vivace e brillante ♩ = 116	Vivace	
11	"	"	"	Moderato espressivo Quietly, movement and expressive	Allegro moderato ♩ = 108	Andante con espressione	Moderato ♩ = 80	Tranquillo, ma scorrevole Earnest and muted	Allegro molto moderato ed espressivo ♩ = 76	Moderato ed espressivo	
12	"	"	"	Allegro vivace e brioso With great animation and sweep	Allegro giocoso ♩ = 84	Allegro con brio	Vivace ♩ = 76	Molto Allegro Brisk and rushing	Allegro con brio ♩ = 72	Allegro con brio	
13	"	"	"	Allegro giusto Animated, the rhythm well marked	Allegro tranquillo ♩ = 104	Allegro tranquillo	Allegro ♩ = 116	Con moto Fluent, decided	Allegro ♩ = 108	Allegro	
14	"	"	"	Allegretto piacevole Not too fast with graceful and equalized movement	Moderato ♩ = 88	Andante con moto	Andante con moto ♩ = 69	Andantino piacevole Calm and kindly	Andante con moto ♩ = 69	Allegretto	
15	"	"	"	Moderato ma con spirito Easily, yet with spontaneous movement	Allegro non troppo ♩ = 104	Allegro comodo	Allegro comodo ♩ = 96	Allegro comodo Agitated but rather heavy	Allegro moderate ♩ = 92	Allegro con comodo	

表Iによる二声・インベンションの演奏速度指示法は、つぎの三つのタイプに分類できる。

- ① 速度標語、発想標語がまったく書き込まれておらない自筆譜と原典版。(ファクシミリ版、ヘンレ版、ウィーン原典版)
 - ② 速度標語と発想標語を併用したもの。
(ブゾーニ版、メイソン版、フィッシャー版、井口版)
 - ③ 速度標語、発想標語さらにメトロノーム速度記号を付したのもの。(チェルニー版、ビショップ版、ムジェリーニ版)
- (2) 演奏速度と平均速度

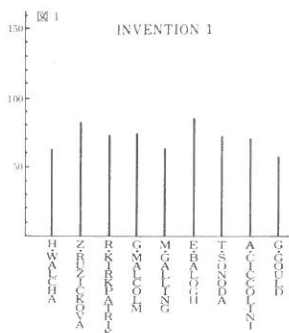
つぎの表IIは、バッハ・二声インベンションの演奏速度を研究するのに必要な資料として、表の左欄に掲げる9人の演奏家の演奏時間を、一曲づつストップ・ウォッチで計測し、さらに、一分間における拍数に換算したメトロノーム速度と、表の最下段に曲別平均速度を書き込んで表にまとめたものである。

表II「バッハ二声インベンション」における演奏家別演奏速度と曲別平均速度

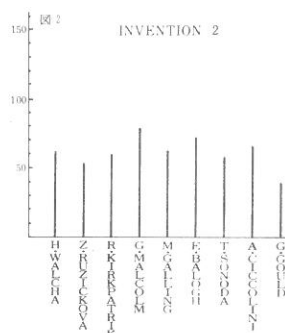
PLAYER	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
H. WALCHA		64	61	44	58	71	105	77	68	44	115	57	68	74	64	67
Z. RUZICKOVA		84	53	54	55	78	116	73	76	27	116	55	66	83	49	83
R. KIRKPATRIK		74	59	49	62	83	74	50	75	37	87	98	68	98	39	78
G. MALCOLM		75	79	54	64	99	111	84	78	53	121	72	72	113	65	84
M. GALLING		64	62	46	59	65	99	65	80	33	108	59	71	68	56	92
E. BALOGH		87	73	53	57	88	114	64	93	45	100	72	72	113	58	110
T. SONODA		72	56	56	67	67	123	69	85	34	128	53	76	82	58	81
A. CICCOLINI		70	66	59	68	66	123	41	79	40	105	100	70	118	50	58
G. GOULD		59	37	63	75	101	91	110	66	25	167	108	99	156	50	105
AVERAGE TEMPO		72	61	53	63	80	106	70	78	38	116	75	74	101	54	84

(3) 曲別演奏速度

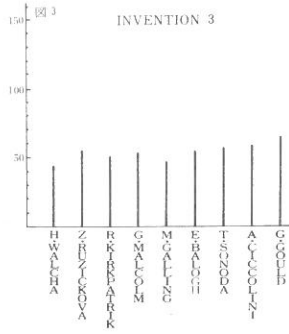
つぎの図1から図15までの図表は、バッハ・二声インベンション全15曲の演奏時間を比較検討するために、1番から15番までの9人の演奏家の演奏速度を、それぞれ一曲づつ、図表化したものである。図表におけるたて軸は、メトロノーム速度、よこ軸は、9人の演奏家名である。また、それぞれの図表の下には、9人の演奏家の一曲ごとのメトロノーム速度の平均値を割り出し、Average Tempoとして一拍に数える音符と、一分間に数えるべき拍数を付して示した。



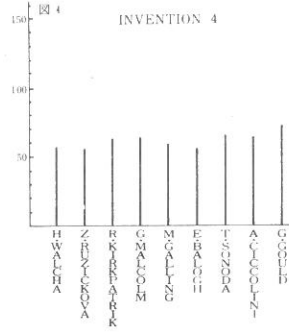
Ave. Tempo ♩ = 72



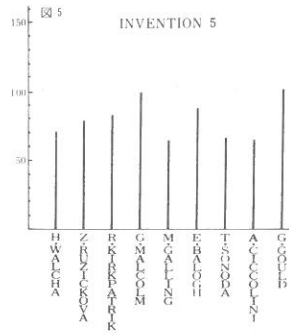
Ave. Tempo ♩ = 61



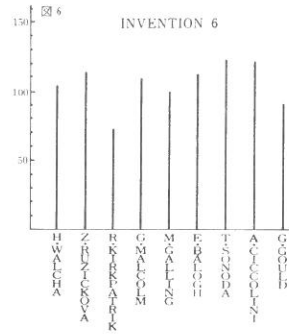
Ave. Tempo ♩ = 53



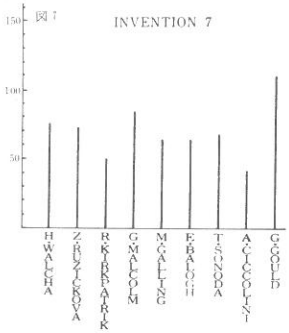
Ave. Tempo ♩ = 63



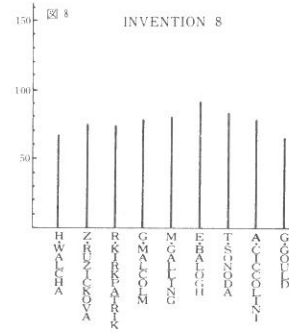
Ave. Tempo ♩ = 80



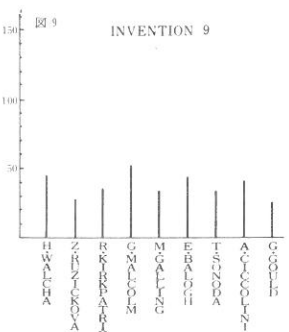
Ave. Tempo ♩ = 106



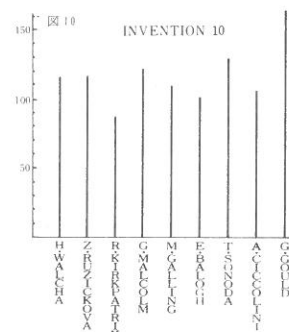
Ave. Tempo ♩ = 70



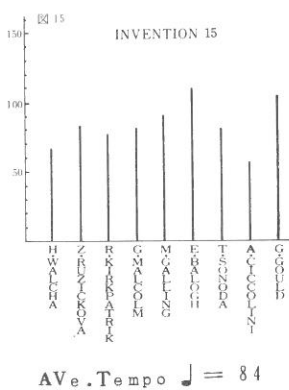
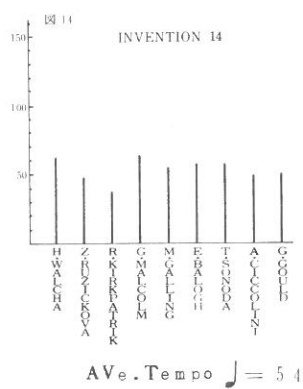
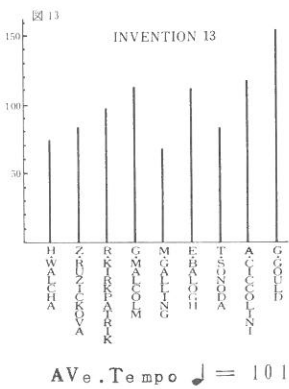
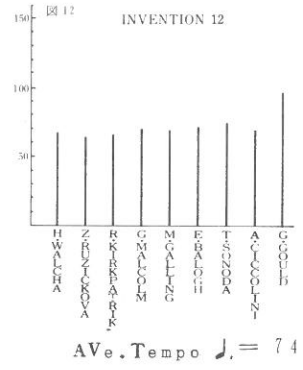
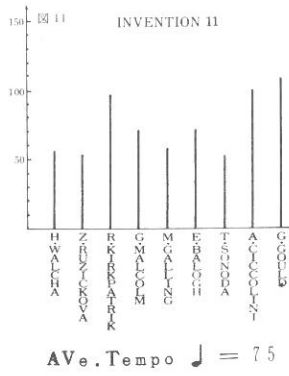
Ave. Tempo ♩ = 78



Ave. Tempo ♩ = 38

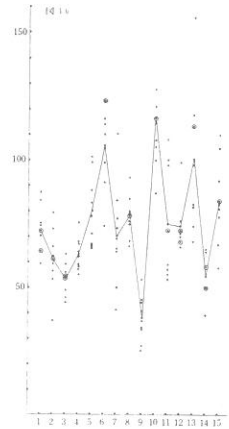


Ave. Tempo ♩ = 116



(4) 演奏速度のばらつき

つぎの図 16 は、9 人の演奏家の平均演奏速度と個々の演奏家のテンポ設定の関係を知るための図表である。図表におけるたて軸は演奏速度、よこ軸は曲番、それぞれの演奏家の演奏速度は・印、演奏速度が同じで二つ重っている時には○印で表わし、9 人の演奏家の平均演奏速度は実線で結んで表わした。



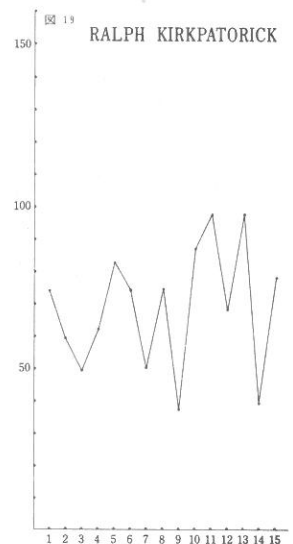
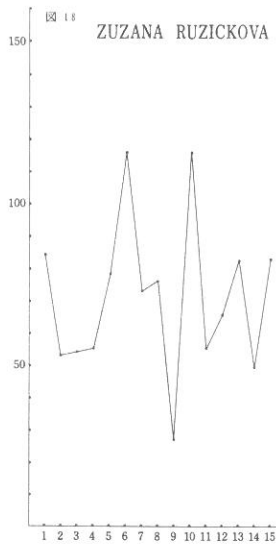
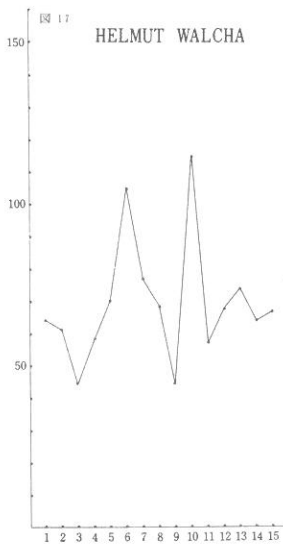
上記の図 16 を概観すると、演奏速度のばらつき状態はつぎの表Ⅲのようにまとめられる。これら演奏速度のばらつきは、音楽解釈上のテンポ設定が、音楽作品の全般的性格を決めるのに重要な役割を果たすという点から、また、音楽的感受性の個人差という点からも極めて興味深いものがある。

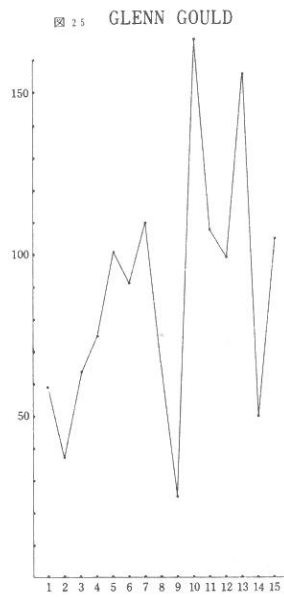
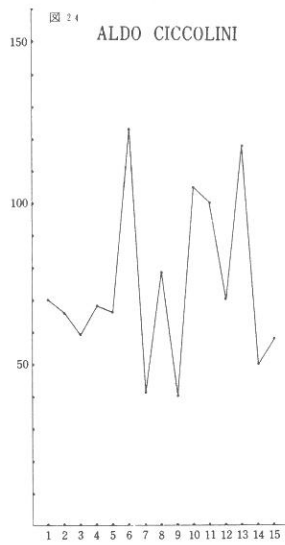
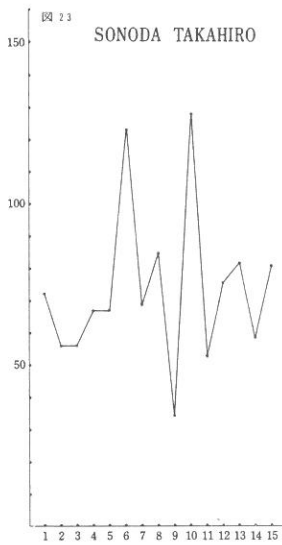
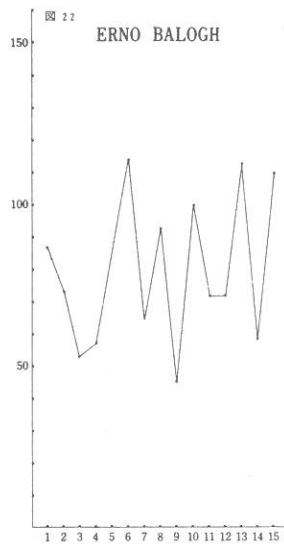
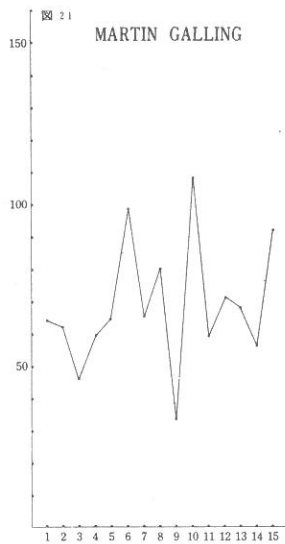
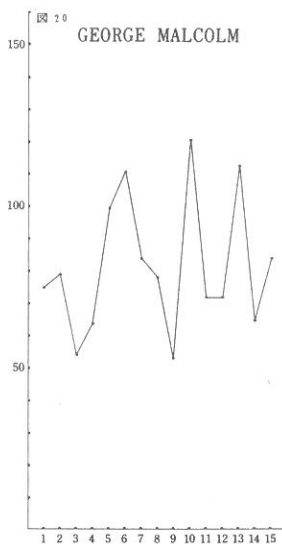
表 Ⅲ

	バッハ・二声インベンジョンの曲番						
ばらつきが少い	1	3	4	8	9	12	14
ばらつきがややある	2	5	6				
ばらつきが多い	7	10	11	13	15		

(5) 演奏家別演奏速度

つぎの図 17 から図 25 までの図表は、9 人の演奏家一人一人が演奏速度をどのように扱っているかを知るために、バッハ・二声インベンジョン全 15 曲の演奏速度を、演奏家別に図表化したものである。図表のたて軸はメトロノーム速度、よこ軸は二声・インベンジョンの曲番を表わしている。

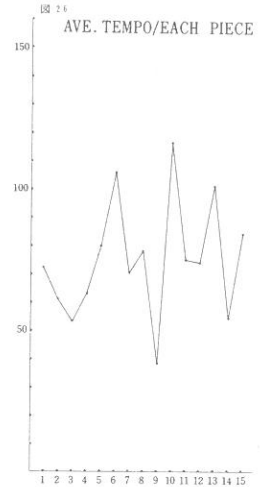




(6) 平均演奏速度

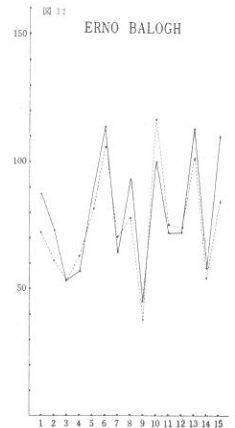
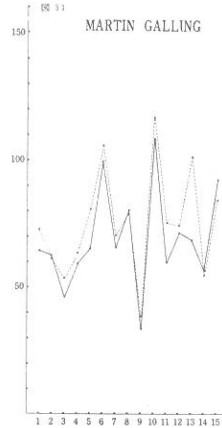
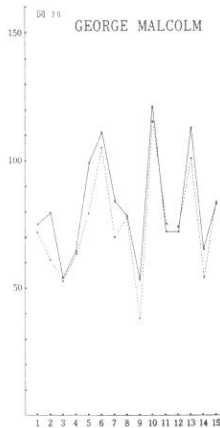
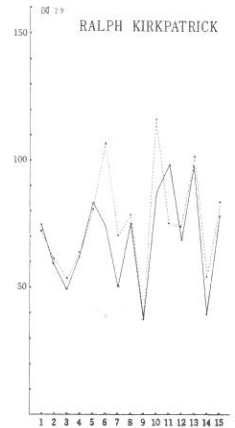
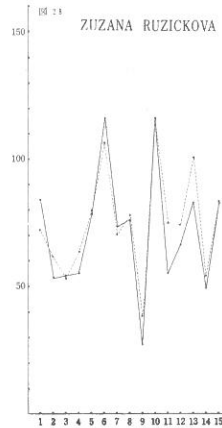
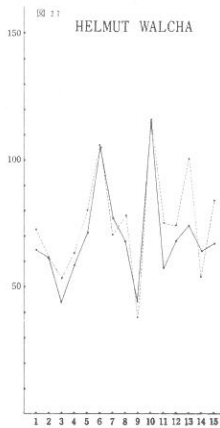
図 2 6 は、図 1 7 から図 2 5 までの図表における 9 人の演奏家の演奏速度から、一曲ごとの平均演奏速度を求め図表化したものである。

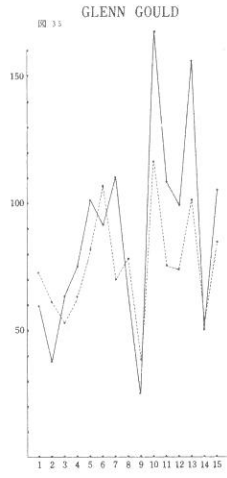
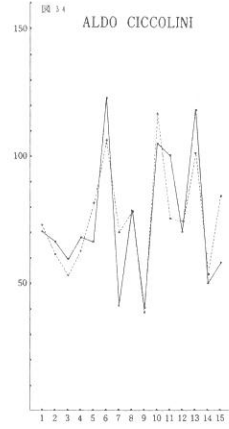
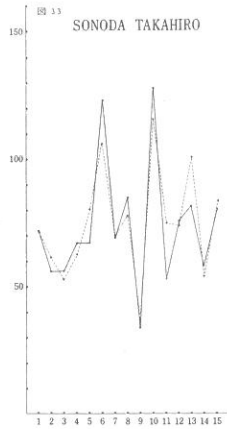
図表のたて軸は平均演奏速度、よこ軸は二声・インベンションの曲番を表わしている。



(7) 演奏家別演奏速度と平均演奏速度

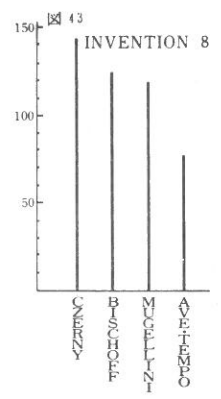
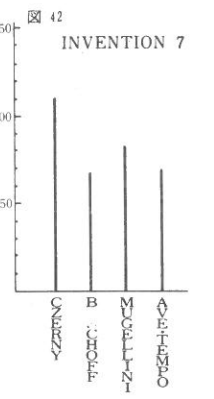
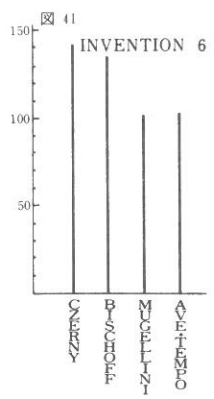
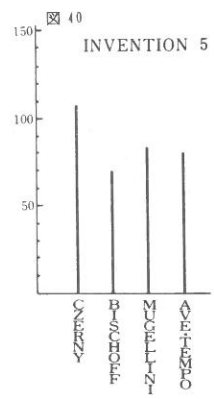
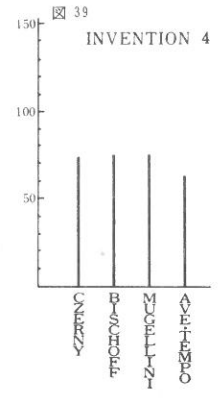
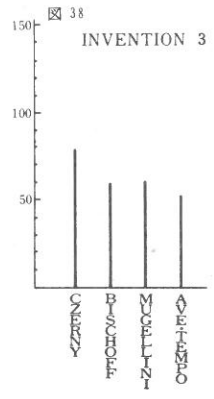
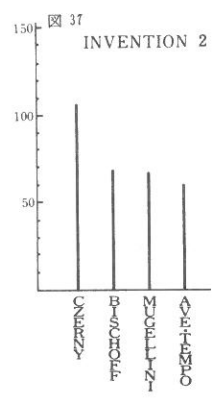
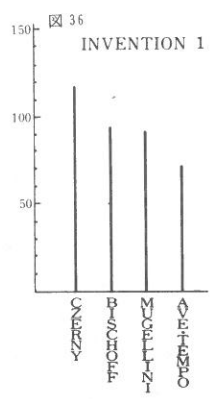
つぎの図 2 7 から図 3 5 までの図表は、すでに図 1 7 から図 2 5 までの図表に示した 9 人の演奏家一人一人の演奏速度を実線で、そして、図 2 6 で示した平均演奏速度を点線で表わし、二つの線を同一図表にまとめたものである。これらの図表は、個々の演奏家の演奏速度の内容の分析をしたり、平均演奏速度との関係を比較検討したりすることに役立つばかりでなく、演奏速度のもつ音楽的意味の把握にも役立つものと思われる。

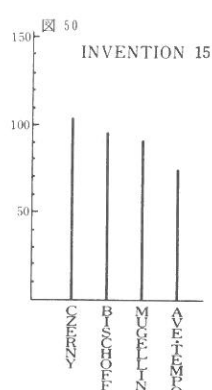
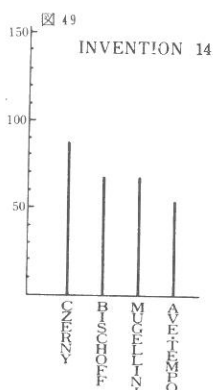
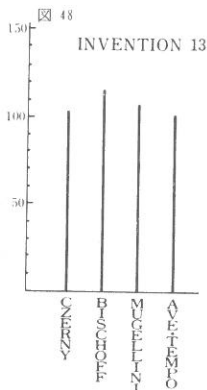
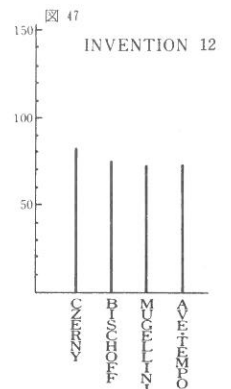
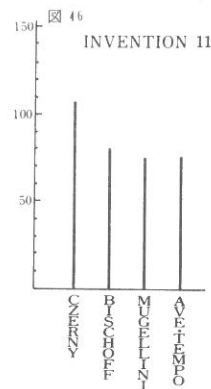
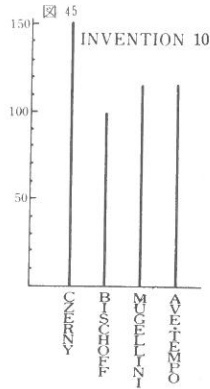
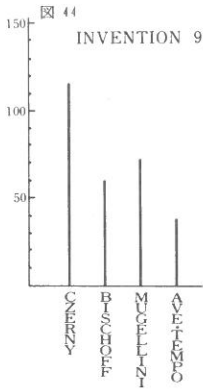




(8) メトロノーム速度と平均演奏速度

つぎの図 36 から図 50 までの図表は、バッハ・二声インベンションの出版譜に表示されたメトロノーム速度と、実際に演奏される演奏速度との関係を知るために、図 26 で示した 9 人の演奏家の一曲ごとの平均演奏速度と比較したものである。図表のたて軸はメトロノーム速度、よこ軸は三種類の出版譜名と平均演奏速度を表わしている。





- 上記の図 36 から図 50 までの図表を概観すると、つぎの①から④までのようなことがいえる。
- ① チェルニー版におけるメトロノーム速度表示は、全体的に速く弾くように指示したものが多く、このことは、チェルニーの校訂者としての考え方と密接に関係していると考えられるべきである。チェルニーはこの曲集を扱う立場として、ピアノの演奏技術習得という面から捉え、この曲集の教材の価値を音楽的内容の把握ということよりも、ピアノ学習者が演奏を通じて対位法の楽曲に慣れることや、左右の手や指のバランスのとれた筋肉活動の確立に重点を置いたように思われる。従って、チェルニーが数多くの作品として残したピアノ演奏技術修得のための練習曲と同じように、ピアノ演奏技法上の問題であるメカニクの確立に力点を置いて考えられたテンポ設定であると見るべきであろう。
 - ② ビショフ版における速度設定の傾向は、チェルニー版に近い。しかし、この曲集全体の平均速度で比較してみると、チェルニー版の平均速度が一分間に 110 の速さ、ビショフ版が 87 と、かなりの速度差がみられる。その原因は、チェルニー版の速度設定が全体的に速目なのに対して、ビショフ版の速度設定は、緩急速度の落差を大きくしていることにある。典型的にはチェルニー版の速度設定に近いが、速度の緩急の落差を大きく配し対称的に扱っているのが、この版の特徴といえよう。
 - ③ ムジェリーニ版における速度設定の方法は、チェルニー版、ビショフ版とは傾向が異なり、典型的には 9 人演奏家の平均演奏速度に近い。この曲集全体の平均速度との比較では、ムジェリーニ版が 86、9 人の演奏家の平均値が 75 である。速度差はあるが全体としての速度の緩急の配

置は、その落差において、9人の演奏家の平均演奏速度のものより少い。そのために全体としての平均速度は速くなっている。しかし、この版の速度設定の傾向は、すでに図26で示した平均演奏速度のパターンと類似しており、ピアノ学習者にとって参考になる版と思われる。

- ④ 平均演奏速度は、他の三つの出版譜のメトロノーム速度と比較すると、その殆んどが遅い。この曲集全体の平均速度で比較すると、チェルニー版の一分間で110、ビショフ版87、ムジェリーニ版86に対して、75という結果からみて、かなりの速度差が表われている。

5. ま と め

以上の如くバッハ・二声インベンションの演奏速度について、出版譜に表示される速度標語やメトロノーム速度に関する調査、また、9人の演奏家によるレコードの演奏速度について調査を重ねてきた。その結果、得られた資料の分析からある程度の演奏速度に関する知見が得られた。しかし、演奏速度のような音楽の本質に少からずつながる問題の解明は、容易でなく、当然、今後の継続的な研究が必要となってきた。結局、現段階で得られた結果をつぎのようにまとめた。

(1) 出版譜の速度指示法

調査した10種類の出版譜の速度指示法を分類すると、つぎの表Ⅳのようになる。

表Ⅳ

項 目	出 版 譜 の 名 称
速度指示がない	ファクシミリ、ヘンレ、ウィーン原典
速度標語と発想標語	メーソン、井口
速度標語と発想標語 さらにメトロノーム速度記号	チェルニー、ビショフ、ムジェリーニ
速度標語と発想標語 さらに感情表現をことばで	ブゾーニ、フィッシャー

(2) 平均演奏速度のもつ意味

平均演奏速度は、実際に演奏されたものから正確に数量処理をして得られたある意味で標準化された演奏速度と考えることができる。ピアノ学習者が、バッハ・二声インベンションをはじめ練習しようとする時、出版譜に表示される速度標語のように、「速く」「遅く」などの標語だけでは、その速度を感覚的に受け止めるのには無理がある。また、チェルニー版のように速度標語とメトロノーム速度が併記してあっても、実際の練習に適さないのでは意味がない。

その点、平均演奏速度(図26)は、速度設定の目安として、学習者が何らかの手がかりが欲しい気持を助けることができる。また、速度設定の範囲を拓げるのに参考になると思われるのが、平均演奏速度と9人の演奏家の速度設定の関係を示す図表(図16)である。これらの図表は、演奏速度を知的に考え、速度設定の合理的な方法を知るうえに役立つと思われる。

(3) 演奏速度設定の類型

これまでの調査資料にもとずき、9人の演奏家の演奏速度の設定について、個性的な面、共通点などについて、検討してきた。その結果、つぎの図51に示すようなA.B.Cの三つのタイプに別の要素が加わることによって、変型が成り立つことがわかった。

図 5 1

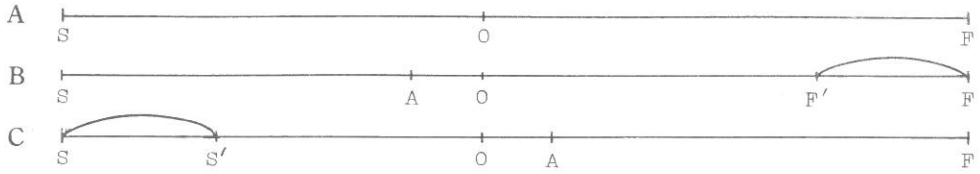


図 5 1における直線 S F は演奏速度の幅，点 O は速度幅の中心点，A は個々の演奏家の平均速度，S は遅い速度の方向，F は速い速度の方向を示している。そして，つぎの①から④までの諸要素が加わることにより，変型の成立が考えられる。

- ① 速度幅を拡げる。(緩急の速度差を大きくする)記号 W で表わす。
- ② 速度幅を狭くする。(緩急の速度差を小さくする)記号 N で表わす。
- ③ 全体の速度幅をその儘速い速度の方向に移行する。記号 F で表わす。
- ④ 全体の速度幅をその儘遅い速度の方向に移行する。記号 S で表わす。

上記の方法により 9 人の演奏家のテンポ設定を類型化したところ，つぎの表 V のようになった。

表 V

演奏家名	1 標準型	2 変型	1+2 類型
1 ヘルムート・ヴァルハ	B	F	BF
2 ズザナ・ルージチコーバ	BA	W	BAW
3 ラルフ・カークパトリック	C	N	CN
4 ジョージ・マルコム	B	N	BN
5 マーチン・ゲーリング	B		B
6 エルノ・パロウ	CA	N	CAN
7 園田 高 弘	B	W	BW
8 アルド・チッコリーニ	B	F	BF
9 グレン・グールド	B	W	BW

注. 標準型と変型の分類は，9 人の演奏家の平均演奏速度を基準としたものである。

(4) 演奏速度の分類

われわれのバッハ・二声インベンションの演奏速度に関する調査結果からいえば，この曲集の演奏速度は，つぎの表 VI に示すように，三段階に分類されるのが適当であると思われる。

表 VI

速さの分類	バッハ・二声インベンションの曲番
遅い曲	3 . 9 . 14
中位の曲	1 . 2 . 4 . 5 . 7 . 8 . 11 . 12
速い曲	6 . 10 . 13 . 15

別な考え方として，ハロルド・ザブラック Harold Zabrack は，この曲集の性格を，リズム的なものと，カンタビレなものに別け，それぞれの演奏速度を速いものと，遅いものに分けて分類している。

- a リズミックな曲 —— 速いテンポ
1 . 8 . 10 . 12 . 13 番
- b カンタビレな曲 —— 遅いテンポ
2 . 3 . 4 . 5 . 6 . 7 . 9 番

(5) 標準にすべき演奏速度

いろいろな批判はあるかも知れないが、9人の演奏家の平均演奏速度を、メトロノーム速度に完全な形に直してつぎの表Ⅶにまとめ、標準演奏速度表を作成してみた。この表による速度指示は、少なくとも、出版譜に表示されている速度標語や発想標語、その他いろいろな方法で示されている速度指示や感情表現のことばよりも、具体的、現実的であり、合理性に富んだ基準とすべきテンポであると考えらる。

表Ⅶ バッハ・二声インベンションの標準演奏速度表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
♩=72	♩=60	♩=54	♩=63	♩=80	♩=108	♩=69	♩=80	♩=40	♩=116	♩=76	♩=76	♩=100	♩=54	♩=84

演奏速度について、速度指示のない曲がどのように扱われているか、いろいろと検討してみた。その結果、ある程度の知見は得られたが本質的解明には至らなかった。個々の演奏家のこの曲集全15曲の平均速度を見ると、1分間に68～87の速さで、平均値は75である。録音時の年令がわかれば、脈拍との関係が把握できたかも知れない。また、速度決定についても生理学的な追求ができれば、もっとまとまった結論が出せたかも知れないと思う。

参考文献

1. Bach, J.S., Inventionen und Sinfonien. Peters,
2. Zabrack, H., The "Inventions" were meant to be teaching pieces. Clavier vol. 13. № 8 1974.
3. Bach, J.S., Inventionen und Sinfonien. Faksimile Ausgabe,
4. Steglich, R., J.S. Bach, Inventionen und Sinfonien. Henle,
5. Ratz, E., Inventionen und Sinfonien. Füssel, K.H. Wiener Urtext,
6. Busoni, F., J.S. Bach, Bach Klavierwerke. Breitkopf,
7. Busoni, F., J.S. Bach, Fifteen Two-part Inventions For the Piano. Schirmer,
8. Czerny, C., Bach Inventionen. Peters,
9. Mason, W.M., Bach Two-Part Inventions. Schirmer,
10. Bischoff, H., Bach 15 Inventionen. Steingraber,
11. Fischer, E., J.S. Bach, Zweistimmige Inventionen. Hansen,
12. Mugellini, B., Bach Invenzioni a due voci. Ricordi,
13. 井口基成 バッハⅣ 春秋社

レコード

1.	Walcha, H.	AA-8259	Angel
2.	Ruzickova, Z.	OS-2746	Columbia,
3.	Kirkpatrick, R.	198179	Archive,
4.	Malcolm, G.	H-71144	Nonesuck,
5.	Galling, M.	STPL 512330	Vox
6.	Balogh, E.	LL1A	Lyrichord,
7.	園田高弘	OS-10021-J	Columbia,
8.	Ciccolini, A.	AA-8166	Angel,
9.	Gould, G.	D3S 754	Columbia
		D3L 354	"

Summary

With Reference to Tempo on Bach's Two Part Inventions.

by Katayama Sho.
Moriya Fumiko.

Johann Sebastian Bach's (1685-1750) Clavier works 'Inventions and Symphonies' are often used as text by piano students. However, there are no tempo indications whatever in Bach's urtext. Although it is a difficult matter to assign one tempo marking for each of these pieces. Therefore, ten kinds of editions were selected to investigate the tempo indication. Nine records were also selected to measure the playing tempo to examine the playing hour. As a result, most of the pieces are Played slower than the tempo indicated in the editions.